

主要施策名：(4)観光・物産プロモーションの推進

事務事業本数：15

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課	
③賑わいと活力ある産業づくり	(4)観光・物産プロモーションの推進		340-2	玉名ブランド推進事業	観光物産課	
			340-3	マスコット管理事業	観光物産課	
			340-4	玉名市観光振興計画事業	観光物産課	
			340-6	施設等管理運営事業	観光物産課	
			340-7	草枕の里事業	観光物産課	
			340-8	イベント誘客事業	観光物産課	
			340-9	【新型コロナ】観光支援事業	観光物産課	
			340-10	金栗四三PR事業	観光物産課	
			(1)インバウンド事業の推進	341-1	受け入れ態勢整備事業	観光物産課
				341-2	情報発信事業	観光物産課
	341-3	インバウンド推進事業		観光物産課		
	(2)着地型旅行商品開発の推進	342-1	玉名圏域定住自立圏事業	観光物産課		
		342-2	協議会等連携・支援事業	観光物産課		
	(4)玉名版DMOの構築	344-1	玉名版DMO構築事業	観光物産課		
	(5)物産振興の推進	345-1	6次産業推進事業	観光物産課		



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 玉名ブランド物産PR事業	集客が多いイベントへブース出展して、ブランド物産品をPRする	イベントへの参加回数(福岡物産展、東京、大阪など)	回	2	3	6	5
② キラリかがやけ玉名物産展事業	物産展を開催してブランド物産品を販売する	大阪フェアへの参加業者の件数	件	7	0	7	7
③ オリジナルロゴマーク管理事業	オリジナルロゴマークの作製及び使用申請の審査・許可を行う	作製及び審査件数	件	***	***	***	***

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 玉名市物産展での売上	物産展でのブランド物産品の販売額	千円	2,500	2,500	2500	5000
			212	764	5264	
2						

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必 要 当 性 )	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 一部、市名義でないと会場の確保が困難な会場もあり、ある程度の取り計らいが必要と感じる
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 社会情勢の変化はあるものの、玉名ブランド推進に関する目的は変化していないため、見直しは必要ない
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 玉名ブランドのPRができないことによって、市の知名度低下と物産品の販売低下の恐れがある
有 効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。 未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成 福岡での物産展を例年より多く開催した。コロナ明けもあり、来場者が多かった
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 玉名の知名度アップのため、細事業は適当である
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 遠方の会場での物産展の在り方については、検討の余地があり、事業費を削減できる可能性がある。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 物産展の依頼についてとりまとめを行う際、FAX中心となっているので、メール等の活用を促すなどの余地がある
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 可能な限り民間ノウハウを活用しており、これ以上検討の余地はない
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 類似する事業はない
公 平 性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし 対象者の一部負担の余地があるが、負担水準は適正であり、検討の余地はない

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容) ブランド認定品については、6次産業推進計画(第4期)が今年度をもって終了するため、今年度中に「玉名の逸品」として今後売り出していく旨を事業者へ説明を行っていく。また、6次産業事業者を対象として実施していた勉強会や個別相談会については、枠組みの変更に伴いブランド物産事業者も含めて対象とできる内容を検討する。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) ブランド物産協会に対して、今後、6次産品やその他の物産品と共に一体的に売り出していく主旨の説明を行い、それに伴う組織の改編等の提案を行った。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的な内容	今後、観光協会の組織の中に物産部会を設け、その中にブランド物産協会の会員や6次産業事業者、その他の物産事業者に加入を促し、事業の実施内容を検討しながら、加入事業者の商品を中心に玉名市として推進していく方向で検討する。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	玉名観光協会の機構改革に伴い、物産部会を設置しブランド物産協会や6次産業事業者など、各種団体の加入促進を図り玉名市の物産品の統一に努めたい。	評価責任者 伊藤 恵浩
----------------------	--	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	マスコット管理事業		所管課 【2】	観光物産課
			作成者(担当者)	坂井 実優
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		
	施策区分			重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市マスコット「タマにゃん」の使用に関する規則 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 7 項 1 目 2 細目 14

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	音楽イベントマスコットとして誕生し、平成23年度から玉名市のマスコット「タマにゃん」として正式に位置づけ商標登録している。その「タマにゃん」を玉名のイメージアップや認知度向上に積極的に活用していく必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	マスコット使用申請者及び着ぐるみ貸出申請者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	タマにゃんの着ぐるみの貸出やマスコットの使用によって、市のPR活動やイメージアップにつなげ、市内外における玉名市の認知度の向上を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【      年度】    【 H19 年度から】    【      年度～      年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【      】
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【      】
事務事業の具体的内容 【14】	申請者が実施する企画や実施する音楽をはじめとした様々なイベント等の場において、「タマにゃん」の使用が適切と審査した場合には、無償でマスコット・着ぐるみの使用・貸し出しを許可する。
	【15】 事務事業を構成する細事業( 1 )本 ⇒ ① 玉名市マスコット管理事業 ② ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	494	194	211	298	
	【16】 小 計	494	194	211	298	0	
	職人 員 の 費	職員人工数	0.47	0.32	0.18	0.18	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291		
【17】 小 計	2,574	1,671	977	981			
合 計	3,068	1,865	1,188	1,279			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 玉名市マスコット管理事業	マスコット画像及び着ぐるみの使用・貸出し・申請の審査・許可する。	使用申請審査件数	件	47	41	37	40
②							
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	
1 マスコット画像使用許可件数	マスコットの画像使用を許可した年間件数	件	30 23	30 27	30 34	30
2 認知度向上	着ぐるみの市内外出動件数	件	20 0	10 4	10 4	12

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
( 妥当性 )	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 出演するイベントについて市のマスコットとしてふさわしいか判断する必要があるため
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 社会情勢の変化はあるものの、目的が変わっていないため必要がない
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 玉名市のPRにつながらず、交流人口の減少などの影響がある
有効性	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 コロナ禍のため、イベントの開催が落ち込んでいた
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 玉名の知名度を上げるため適当である
効率性	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 自主管理であり、最低限のコストで運用しているため余地はない
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 庁内の画像利用については、使用頻度向上を目指すため、受付簿入力での使用方法に変更する。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり マスコット管理運営について業務委託が可能であるため
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 類似する事業がないので余地はない
公平性	【23】 受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 受益者負担はなじまない

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)
	使用できるタマにゃんイラストのレパートリーが約20種類ほどに増えたため、このことも周知しながら、画像使用申請数の増加を図る。また、画像使用申請等の電子化に取り組みながら簡素化に努める。
【24】	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)
	昨年度に比べ申請数が増加した。周知活動や簡素化に取り組めなかったため、今年度は庁内利用についての利用状況を中心に改善に努める。
【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
	今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容
	着ぐるみの出勤率の増加や、SNSの効果的な活用を行い、タマにゃん及び玉名市の認知度向上を図る。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	タマにゃんの認知度も年々認知度が増し、人気度も定着している状況で、今後もSNSの効果的に活用し、出勤回数を増やし玉名市のPRに努める。	評価責任者
		伊藤 恵浩



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 第2期玉名市観光振興計画策定業務	本市の観光を取り巻く現状の調査と、観光戦略会議を開催し、観光振興計画を策定した。	観光戦略会議の実回数		***	***	4	1
②							
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1						
2						

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必妥 要 当 性 性) 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり
有 効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。 未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり
公 平 性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) 令和3年度は事業実績がないため、事務ふりかえりの対象外だった。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	計画の策定は単年度であったが、今後の5年間は計画策定後の効果検証のため、年1回程度の会議を開催する。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	今回策定した第2期玉名市観光振興計画は、目まぐるしく変化する社会情勢と観光需要に対応するため、ウィズコロナを見据えた実行可能な計画を策定し、計画策定後は効果検証のため、年1回程度の会議を開催することとしている。	評価責任者 伊藤 恵浩
----------------------	---	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	施設等管理運営事業		所管課【2】	観光物産課
			作成者(担当者)	本田 祐一
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		
	施策区分			重点 施策【4】 <input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 観光ほっとプラザ「たまら」条例、玉名市ふるさとセンター・Y・BOX条例等 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 7 項 1 目 4 細目 2

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	地域資源を活用し、多くの観光客に来場してもらい経済効果を生むとともに、資源を有する地域の活性化を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	利用者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	経営状態によって業務委託もしくは指定管理者制度導入を検討するなど、適切な運営管理と利用者の増加を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【      年度】                      【 H17 年度から】                      【      年度～      年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【      】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他【 指定管理者制度 】
事務事業の具体的内容 【14】	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> <p>・「たまら」、Y・BOX他2施設、玉の湯、草枕温泉てんすい他5施設は指定管理制度における基本協定に基づき、指定管理者により適切な管理運営を行う。また、Y・BOX他2施設、玉の湯、草枕温泉てんすい他5施設については、令和10年での民営化を見据えた管理運営を行っていく。</p> <p>・松原海水浴場は警備・清掃等委託契約により適切な維持管理を行う。</p> <p>・小岱山ふるさと自然公園は委託により管理及び巡視活動を行う。</p> <p>・草枕交流館、前田家別邸については本課所管の基、適切な維持管理を行う。</p> <p>・日嶽は日嶽公園巡視・清掃管理業務委託により、定期的な巡視及び清掃活動を行う。</p> </div> <div style="flex: 0.5; text-align: center; font-size: 2em; margin: 0 10px;">⇒</div> <div style="flex: 1;"> <p>【15】 事務事業を構成する細事業( 16 )本</p> <p>① 観光ほっとプラザ「たまら」指定管理業務</p> <p>② 松原海岸整備事業</p> <p>③ 小岱山ふるさと自然公園事業</p> </div> </div>

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	1,872	3,789	2,422	2,078	
		起債	0	36,700	11,800	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	4,759	2,456	6,049	
		一般財源	66,871	85,774	45,140	33,234	
	【16】 小 計	68,743	131,022	61,818	41,361	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	1.15	1.15	1.28	1.28	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291		
【17】 小 計	6,297	6,006	6,949	6,977			
合 計	75,040	137,028	68,767	48,338			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 観光ほっとプラザ「たまら」指定管理業務	指定管理者に基本協定に基づき、管理運営を行わせる。	開館日数	日	365	365	365	365
② 松原海岸整備事業	委託により、警備・清掃を行う。	海水浴場開設期間	日	0	0	0	0
③ 小岱山ふるさと自然公園事業	委託により管理を行う。	巡視回数	回	365	365	365	365

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 利用者数	たまら、松原海岸(イベント)、小岱山ふるさと自然公園、Y・BOXの延べ利用者数	人	185,000	160,000	160,000	168,000
			154,877	158,553	167,351	
2 利用者数	玉の湯、草枕温泉ほか5施設の延べ利用者	人	-	360,000	330,000	430,000
			353,552	320,923	430,186	

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
必 要 性 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 基本的には市が実施すべきであるが、一部施設については将来的に民営化の計画あり
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input type="checkbox"/> 必要なし <input checked="" type="checkbox"/> 必要あり 社会情勢が変化しても目的が変わるものではない
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり 利用者数が減少することで、交流人口も減少し、域内の消費が低下することにより影響がある
有 効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成 アフターコロナにより目標を大きく上回り達成できた
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 適切な運営管理と利用者増加を図るため目的は適当である
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり これ以上コスト低減検討の余地はない
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 可能な限り簡素化しており、検討の余地はない。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 民間事業者の自主事業等連携できるためノウハウ活用への検討余地はある
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 類似事業はない
公 平 性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし 利用料金等個別の状況により受益者負担の検討の余地あり

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)	新型コロナウイルス感染症感染防止対策を十分とりながら、令和5年度の指定管理者の更新時期に向け、松原海岸及び施設の一体的な管理運営を担うことができる団体の育成を、市として支援する。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	R5年度に松原海岸の砂浜や駐車場など「潮湯」以外の場所を所管することとなり、他課が持っていた関連予算を当課に一本化することとなった。加えて、樹木の大規模な伐採や防砂ネットの新設、グラウンドゴルフ広場の整地など活用推進をするために必要な整備予算の計上を行った。また、R5年度から指定管理を担う企業と、砂浜のイベント活用等の相談を行いながら進めている状況。たまらについては指定管理の更新を行い、玉の湯や草枕温泉でんすいほか5施設、Y・BOXほか2施設については、令和10年度の民営化を見据えた管理運営を行いつつ、指定管理の更新を行った。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	松原海岸については、引き続き指定管理者と連携を取りながら、活用推進に向け諸々の整備を行っていく。また、玉の湯や草枕温泉でんすいほか5施設、Y・BOXほか2施設については、令和10年度の民営化を見据え継続して検討を行っていく。また、その他の施設においては適切に維持管理を行う。	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	令和4年度までに指定管理施設の民営化については、今後5年間、指定管理者の管理のもと運営されることとなった。今後民営化の検討については継続して説明会等を開催しながら意見を徴収していく。また今年度より鍋松原海岸一帯を観光施設として位置付けて整備を進めることとしているが、潮湯の指定管理者と地元住民との調整を図りながら施設管理や整備を進める必要がある。	評価責任者
【26】		伊藤 恵浩

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	草枕の里事業		所管課 【2】	観光物産課	
			作成者(担当者)	大倉 千寿	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり			重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進			
	施策区分				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市草枕交流館条例、前田家別邸条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款	7 項 1 目 4 細目 3

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	玉名市天水町にしかない地域資源を最大限に活用し、地域の活性化及び観光客誘客を図り魅力ある観光地域づくりを行うことが必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民及び観光客
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	草枕の里を適切に管理することにより、訪れる観光客の満足度やイメージを向上させ「また来たくなる」リピーターの増加を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【      年度】    【 H17 年度から】    【      年度～      年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【      】
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【      】
事務事業の具体的内容 【14】	・会計年度任用職員を配置して適切な管理運営を行う。 ・施設の維持管理においては有効活用を図りながら維持管理を行う。また、維持管理を実施する中で、漱石保存会の支援を受け雑草の除去、樹木の剪定等を行っている。この漱石保存会に対しては、補助金交付を行っている。 ・天水地域の観光関連事業所で構成された「天水・草枕の里観光協議会」の事務局的な機能も有している。
	【15】 事務事業を構成する細事業( 1 )本 ⇒ ① 草枕交流館・前田家別邸運営事業 ② ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	13	
		一般財源	3,269	3,168	3,920	3,836	
	【16】 小 計	3,269	3,168	3,920	3,849	0	
	職人 員 の 費	職員人工数	0.12	0.18	0.40	0.18	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451	
		会計年度任用職員人工数	4.34	4.34	4.34	4.34	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291		
【17】 小 計	9,120	8,023	8,170	6,584			
合 計	12,389	11,191	12,090	10,433			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 草枕交流館・前田家別邸運営事業	草枕交流館を拠点に前田家別邸等、地域資源を活かしたイベントを行う。	草枕交流館開館日数	日	229	226	307	313
②							
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 草枕交流館来館者数	草枕交流館の延べ来館者数	人	5000	2000	2000	5000
			1451	1381	2976	
2						

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
必要 妥当性 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 将来的に玉名観光協会などに指定管理での運営をR6・7年で検討を行いR8年度を目途に方向性を決定する。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 社会情勢が変化しても、目的が変わるものではないため。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 交流人口の減少により、域内の消費が低下する。
有効性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成 コロナ禍による休館等がなく、また、草枕ファン倶楽部との共催事業の実施により、目標を達成することができた。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 適当である。
効率性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり これ以上、コストを低減する余地はない。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 玉名観光協会を指定管理者にするなど民間施設のノウハウ活用検討の余地がある。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 玉名観光協会など民間施設のノウハウ活用の検討の余地がある。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 類似事業はない。
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし 草枕交流館や前田家別邸の見学料等の徴収を検討する余地はある。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)	ウイズコロナを前提とし、県内外からの来訪を促す取組みを検討するとともに、引き続き、将来的な指定管理者制度導入に向け、地元や関係各所と十分な協議を行ったうえで、今後の市としての方針を検討していく。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	草枕ファン倶楽部との共催で誘客を促す事業を実施したこと、コロナ禍による休館等がなかったため、来館者増につながった。さらなる天水地域への誘客を促すために関係各所と連携した事業の展開は検討しているが、指定管理者制度導入に向けた協議等はできていない。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	R8年度を目途に引き続き、天水地域への県内外からの誘客を促す事業を実施し、併せて指定管理者制度導入に向け、地元や関係各所と十分な協議を行ったうえで、今後の市としての方針を検討していく。	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	草枕交流館の会館及び草枕ファンの地域一体となって事業を展開しており、今後天水地域の過疎解消に向け観光ルートの開発や観光客誘客に努める。	評価責任者 伊藤 恵浩
----------------------	---	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 玉名大俵まつり事業	実行委員会に補助金を交付する。併せて事務局を運営する。	実行委員会、執行部会の開催回数	回	11	10	10	10
② 高瀬裏川花しょうぶまつり事業	実行委員会に補助金を交付する。併せて宣伝活動や案内所等の受け入れ業務を行う。	イベント開催期間	日	0	0	16	16
③ 山田の藤PR事業	メディア媒体に対し事業のPRを行う。	イベント開催期間	日	0	0	15	15

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	
1 観光客数	玉名大俵まつり(12000人)、高瀬裏川花しょうぶまつり(107000人)、草枕ウォーキング(276人)の合計観光客数。( )内はR4年度の実績。	人	210,000	210,000	100000	130000
			0	70	119276	
2 スポーツツーリズム参加者数	ビーチサッカー(200人)、ウォーターサバイバルゲーム(100人)、トレイルラン(318人)、マラニック(112人)の合計参加者数。( )内はR4年度の実績。	人	1,000	1,000	600	800
			0	229	730	

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必 要 当 性 性)	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 入客数につながるため、現時点では各イベントにおける市の役割が多岐
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 社会情勢が変化しても目的が変わるものではないため
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 交流人口が減少により、地域消費等が減少するため
有 効 性	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成 アフターコロナの影響により達成した
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 多くの観光客に来てもらうため細事業は適当である
効 率 性	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 最低限必要なコストであり、低減の余地はない。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 人流測定などこうかけんしょうに活用できる
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 民間で実施することも可能であるため、ノウハウ活用の余地がある。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 現在実施している事業については類似するものがないため、検討の余地はない。
公 平 性	【23】 受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし イベント参加について参加料徴収を検討する余地はある。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)	引き続き、県の指標に基づき適切な判断を行っていく。開催する場合は、コロナ対策を講じながら、来場者が安心して参加できる環境を提供できるよう努める。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	コロナ対策を講じながら、イベントを開催することができた。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	【24】
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	新型コロナウイルスが5類感染症になったことを受け、行動制限等がなくなったため、よりいっそうの誘客と内容の充実を図る。	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	数多くある観光資源を活かした魅力あるイベントを開催することにより、観光施設への誘客、物産販売の増進に繋げる必要があると考える。そのためにはイベントや催し物が一過性のものではなく、継続的に充実したイベントを開催し、観光客のリピーターを増やしていくことが重要になってくる。	評価責任者 伊藤 恵浩
----------------------	--	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① コロナに負けない! 玉名の魅力発信観光と物産展事業	ターゲット地域である福岡市にて玉名市観光素材説明会と物産展を同時開催し、観光と物産のPRを行う。	売上金額 (R3コロナ禍で中止)	円	***	***	1081396	***
② コロナに負けない! 玉名観光素材説明会及び商談会事業	ターゲット地域である福岡市にて玉名市観光素材説明会と物産展を同時開催し、観光と物産のPRを行う。	参加者数	人	***	53	61	***
③ 玉名温泉を利用した「e-スポーツ宿泊」実証事業	新型コロナウイルス感染症拡大で多大な影響を受けている玉名温泉の宿泊施設を支援するため、オンラインゲームを活用した事業が可能なかどうか、実証事業を行う。	宿泊者数	人	***	***	35	***

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 観光客入込総数	県の観光統計による宿泊客数	千人	-	1500	2000	***
			1358	1165	1528	
2						

《事務事業の評価》

	評価視点		判断理由
	(必妥 要 当 性) 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。) <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。 <input type="checkbox"/> 必要なし <input checked="" type="checkbox"/> 必要あり 【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない <input type="checkbox"/> 必要なし <input checked="" type="checkbox"/> 必要あり <input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり
有 効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。 【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。 <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 <input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	規制緩和されつつあるも、コロナ禍前の数値回復には至らなかった。 目的に即した細事業である。
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など) <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。 <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	必要最低限のコストにて実施している。 十分検討して実施している。 市から民間への支援事業である。 類似事業なし。
公 平 性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。 <input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	事業の目的に受益者負担はなじまない。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して 見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容) これまで行ってきたクーポン事業は、これ以上行くと、割引がないとお客さんが来ないという悪影響につながるため、イベントの再開や国内外旅行の再開がみられるようになってきた今では、役割を終えつつあると考える。今後の支援の方法としては、これまでも行ってきた新しい生活様式に対応した旅行商品の開発やイベント開催の方に重点を置き、ウィズコロナ、アウターコロナでも持続可能な事業を行うことが一番の支援につながる。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) 今年度は、割引クーポン券発行のような観光関連業者への直接の支援ではなく、生活様式に対応した旅行商品の開発や誘客活動に重点を置き、ウィズコロナ、アウターコロナでも持続可能な事業を行った。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する 見直し・改善の具体的内容	新型コロナ観光支援事業としてはR4年度にて終了。誘客の効果が見込める細事業については、他事業に移管しての実施を検討する。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	新型コロナ観光支援事業はR4年度終了。今後誘客の効果が見込める事業を模索検討する。	評価責任者 伊藤 恵浩
----------------------	---	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 金栗四三PR業務	ゆかりのある大会や自治体への金栗トロフィー贈呈やゆかりのある学校を訪問するなど、連携の強化を図る。	連携団体数	団体	***	10	8	4
② 大河ドラマ「いだてん」協議会業務	3つの玉名型ツーリズム関連事業の遂行及びイベントを開催する。	イベント開催数	回	***	7	6	6
③ 住家等管理運営委託業務	金栗氏のゆかりの地である住家やお墓等の周辺整備を行い、訪問者並びに近隣住民の利便性向上を図る。	整備回数	回	30	30	32	30

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 観光入込客数	交流人口の増加人数(入込観光客数)	千人	2500	2500	2500	2500
			1358	1165	1528	
2 金栗四三翁住家・資料館入込客数	毎月月末報告	人	1500	1500	1500	1500
			1329	1379	1355	

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
必 要 当 性 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 市が主導して民間と協力して実施すべき。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 適宜見直しを行っており、見直しは必要ない。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 交流人口が減少するため、市内観光関連事業者等一部には影響があると考えられる。
有 効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 新型コロナの影響のため。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 目的に即した細事業である。
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 事業を改めて見直し、他部署と連携して実施できることは、予算削減を図る。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 現況での導入は難しい。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 民間事業者と連携して実施している。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 教育分野と関連できる余地はある。
公 平 性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 受益者負担はとっているものの、負担金については随時検討しており、これ以上検討の余地はない。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)	金栗翁の偉業・精神を後世に引き継いでいくためにも、地元や他団体が主体となり金栗スピリットを継承していくことが望ましいと考える。その中で、地元及び他団体との連携を図りつつ金栗スピリットを継承し、玉名市及び金栗翁の認知度向上に努めていく。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	新型コロナウイルス感染症の影響があったが、世界的にも有名な福岡国際マラソンへの金栗トロフィー贈呈を始め、ゆかりの関係団体との交流や今後の打合せ等を行い、一過性に終わらせない取り組みを継続して行うことができた。また、マラニックイベント、ウェルネスツーリズムモニターツアー及びオンライン授業・シンポジウム・ランニング教室の開催等、玉名型3つのツーリズムを推進しながら認知度向上及び交流人口の増加に努めた。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	引き続き、地元及び他団体との連携を図りつつ金栗スピリットを継承し、玉名市及び金栗翁の認知度向上に努める。また、いだてん協議会での委託事業が3年計画の3年目を迎え、R5をもって協議会は終了する。次年度以降の事業については、協議会で実施していた事業を当市で実施する事業に集約し、他部署との連携・調整を図りながら取り組みを行っていく必要がある。	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	協議会の運営についてはR5に一先ず運営を終了するが、引き続き、地元及び他団体との連携を図りつつ金栗スピリットを継承し、玉名市及び金栗翁の認知度向上に努める。今後の事業展開については、協議会で実施していた事業を当市で実施する事業に集約し、他部署との連携・調整を図りながら取り組みを行っていく必要がある。	評価責任者 伊藤 恵浩
--------------	--	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 着地型観光商品開発事業	観光客の滞在時間を延ばすため体験型の旅行商品を開発する。	会議開催回数	回	3	4	5	5
② プラットフォーム設置に向けた取り組み地域資源活用事業	SNSを活用したキャンペーン等の情報発信	情報発信回数	回	20	10	15	20
③ 宿泊施設感染症対策認証事業	玉名市内の宿泊施設で、規定の項目を満たした施設に対して認証する。	認証件数	軒	18	18	18	18

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 着地型旅行商品参加者数(旬たまWEEK)	参加者数	人	500	200	100	500
			76	13	603	
2 着地型旅行商品数(旬たまWEEK)	商品数	本	16	15	17	18
			12	15	12	

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
必要 妥当性 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input type="checkbox"/> 市が実施すべき <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 民間主体で実施できることが望ましい。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 旅行者のニーズが多様化している社会情勢に即している。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 交流人口の減少により、域内での消費が低下する。
有効性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成 コロナ禍での誘客事業による一時的な効果による影響
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 目的に即した細事業である。
効率性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 最低限の必要額にて実施している。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 既にSNSの活用、旅行商品のWEB販売など、効率化を図り実施している。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 既に産・官・学連携して取り組んでいる事業である。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 類似事業なし。
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 受益者負担を求めることは事業目的にそぐわない。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)	引き続き新しい生活様式に対応した商品開発を進めつつ、既存商品の見直しを行う必要がある。受け入れ事業者の負担増とならないように、事業者と協力して見直しを行っていく。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	コロナ禍をきっかけに既存商品の現状を改めて見直すことができた。新様式への対応の問題に加え、費用対効果、後継者不足等の問題から存続が難しく終売した商品もあったが、新しく開発できた商品もあり、今後のウィズコロナ、アフターコロナの誘客に向けてPRしていきたいと考える。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	コロナ禍を経て多様化した観光客のニーズに応えるため、玉名ならではの着地型体験商品の開発・改善、宿泊施設的环境整備、観光案内サイトの充実を図り、国内外からの観光需要回復に備えたい。	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	玉名観光協会の機構改革に伴い、協会傘下に各種部会を設け観光客のニーズに応えるため、着地型旅行商品の開発をはじめ宿泊施設の環境整備や観光案内サイトの充実を図り、国内外からの観光需要回復に備える必要があると考える。	評価責任者 伊藤 恵浩
----------------------	---	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 玉名観光魅力アップ事業	ターゲット地域を中心に誘客キャンペーンを実施	誘客訪問回数	回	10	12	16	17
② 観光HPPR事業	市HPに情報掲載、民間HPに情報提供	市HP情報掲載・民間HPへの情報提供件数	件	50	60	80	90
③ 各種広告掲載事業	メディア媒体等で各種イベント等を紹介	広告件数	件	20	30	34	30

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 観光客総入込客数	県に報告した玉名市の観光統計の総入込客数	千人	2500	1500	2000	2000
			1358	1165	1528	
2						

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必 要 性 )	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 市として情報発信を行うことで、事業者それぞれの情報発信と相乗効果を生み出すことができる。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり アフターコロナで観光需要が高まる中、ますます重要となる事業である。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 対象者が観光客であるため市民に直接の影響はないが、市内観光関連事業者等一部には影響があることも考えられる。
有 効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 ウィズコロナでいくつかのイベントが再開されたが、コロナ禍前ほどの集客には至らなかった。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 目的に即した細事業である。
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 予算内で、より効果がある媒体を厳選して実施している。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 新たなデジタルやWEB広告も活用しつつ、直接出向いての誘客活動、紙媒体広告は依然必要である。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 玉名観光協会を軸に情報発信やプロモーションにおいて民間のノウハウを活用できる。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 類似事業なし
公 平 性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 事業目的に受益者負担はそぐわない。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)
	イベントの開催状況によりパンフレットの発行回数や内容を検討し、変更が予想される事項についてはWEBに誘導するなど、紙媒体とWEBの良いところを組み合わせる効果的な情報発信を行う。
【24】	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)
	コロナ禍で停止していたイベントが再開されたものの、どのイベントもウィズコロナでの開催方法を直前まで試行錯誤していた状況であったため、パンフレット発行時期の変更、WEBでの詳細発信など、柔軟に対応しながら情報発信を行った。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
	【25】
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	今後ますますイベントが再開され、発信すべき情報も増えることが予想される。紙面・WEBでの情報発信、実際に出向いての誘客活動など、より効果的な情報発信に努める。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	コロナ禍からの脱却により通常行われていたイベントが再開され、今後発信すべき情報戦略も重要になってくるものとする。紙面・WEB等あらゆる媒体においての情報媒体を活用し効果的な情報発信に努める。	評価責任者 伊藤 恵浩
----------------------	---	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 海外販路拡大事業	これまで地方創生推進交付金や自治体国際化協会の助成を受け実施し、一定の成果を残してきた海外販路拡大事業を持続可能なものとするため、既存輸出国での販路拡大及び新規輸出国の獲得を目指す。	商談回数	回	0	0	3	2
② インバウンド推進事業	いちごマラソン等イベントへの海外からのツアー造成	商談回数、実施回数	回	0	0	2	3
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 外国人宿泊者数	県の観光統計による外国人宿泊者数	人	3,500	1,500	500	1500
			685	161	738	
2						

《事務事業の評価》

	評価視点		判断理由
	【実施主体の妥当性】【20-1】	【目的の妥当性】【20-2】	
(必要妥当性) 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	市が主導して民間と協力して実施すべき。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	インバウンド需要が回復している社会情勢に即している。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	交流人口が減少することで、域内の消費が低下することによる影響は考えられる。
有効性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	世界的に海外旅行が緩和され、インバウンド需要が回復している。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	目的に即した細事業である。
効率性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	最低限のコストにて実施している。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	実際の訪問に加え、WEB会議も活用している。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	民間事業者と連携して行っている。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	類似事業なし
公平性 【23】	【受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。】	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	受益者負担は事業目的にそぐわない。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)	本年6月から、一部地域からの外国人観光客が再開されたところで、円安の背景も相まって依然として日本へ旅行したいという需要は高い状況である。その中で、九州や熊本県へのインバウンド客の流れがいつ戻るのかは予測が難しいところだが、オンラインツアーや海外での物産品のPRを行いながら、今後の需要に備えた受入対策を行っていく。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	海外販路拡大事業については、3年ぶりに自治体国際化協会の助成を受け新規輸出国獲得及び既存輸出国での新規販売先獲得に向けた持続可能な海外販路拡大事業を展開した。しかし、依然として新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、事業内容の修正を余儀なくされながらも、リアル・オンラインをフルに活用しながら既存輸出国である香港でこれまでと違った新たなルートでの商談会を開催し、物産と観光を合わせたプロモーションも合わせて実施した。また、アラブ首長国連邦やタイといった新規輸出国でも、市場開拓とセールスを実施した。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	海外販路拡大事業については、地方創生推進交付金や一般財団法人自治体国際化協会の助成を受けてこれまで実施し、初めて輸出に挑戦した生産者・事業者、順調に販路を拡大している生産者・事業者、海外販路に挑戦し改めて国内市場をターゲットにする生産者・事業者、など成果と課題が明らかとなっていった。今後はこれまでの成果と課題を整理するとともに、一般財源のみの事業で予算も限られた中での実施となるが、国や各種団体の活用できそうな補助事業を随時確認しながら事業規模を拡大することも視野に入れる。生産者・事業者との情報共有を密接に行い信頼関係を強固にし、これまで順調に増加してきている輸出額をさらに増加させる。観光については、TSMCの進出もあり台湾がこれまでよりも更に重要なターゲット国となっているため、力を入れて誘客活動を行ってきたい。	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	コロナ禍からの脱却によりインバウンド客の人流が動き出し、今後モニターツアーや海外での物産品のPRを行いながら受け入れ対策を行っていく必要がある。またTSMCの進出もあり台湾がこれまでよりも更に重要なターゲット国となっているため、力を入れて誘客活動を行わなければならないと考える。	評価責任者 伊藤 恵浩
-------------------	---	----------------



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① ニューノーマル時代の広域(圏域)観光地域づくり事業	公式LINEアカウント友達登録者限定の特別なツアーを開催し、圏域ファンの増加を図る	ツアー開催数(オンライン・リアル共)	回	***	***	6	4
② 玉名市入り込み客数220万人達成誘客事業	バスツアーを中心に旅行商品を造成し、年度毎の目標実送客数達成を目指す	旅行商品造成数	本	***	***	9	8
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 公式LINEアカウント友達登録者数	圏域の公式LINEアカウント友達登録者数の増加を図り、圏域ファンへ情報発信を行っていく。	人	***	***	***	1,000
2 圏域入込客数	入込客数は新型コロナの影響に伴い落ち込んでいるため、誘客事業を実施し2024年度には入込客数3,000千人達成を目指す	千人	***	***	2,800	2,900
			***	***	3,259	

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
(必妥要当性性)	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 定住自立圏域の自治体との協力が必要な、市が行うべき事業である。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 新しい生活様式に対応しているため目的の見直しは必要ない。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 交流人口の減少により、域内での消費が低下する。
有効性	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成 アフターコロナ・ウィズコロナにより目標を大きく上回り達成できた。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 交流人口の増大を図るために細事業の構成は適当である。
効率性	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり これ以上コスト低減検討の余地はない。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり オンライン会議導入により会議の実施を簡素化できる。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり ツアーの開催及び旅行商品造成を含む誘客事業について、民間/ノウハウ活用の検討余地がある。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 類似事業はない。
公平性	【23】 受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし モニターツアー参加者の自己負担額は検討の余地がある。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)
【24】	前回ふりかえりなし
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
【25】	令和3年度に開設した公式LINEアカウントの友達登録者は順調に増加しており、メッセージ配信の開封率及びリンククリック率が高く、アカウントブロック数も約20%に抑えられていることから、発信している情報と友達登録者のニーズはマッチしていると推察され、圏域に愛着を持つファンは着実に増えている。 令和4年度はコロナ禍によりオンライン・リアルの両輪でツアーを実施したが、令和5年度はリアルツアー実施に振り切り、圏域への理解・愛着心の向上と通年で圏域と関わってもら関係性の構築を目指す。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	広域観光政策の実現については近隣市町の連携協力が大前提であるものとする。今後もより多くの観光客に広域観光の魅力をPRし、認知していただく必要があると考える。	評価責任者
【26】		伊藤 恵浩



《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① あらたまツーリズム協議会事業	補助金交付・人的支援を実施することにより観光振興を図る。	イベント開催回数	回	1	1	1	3
② 玉名観光協会事業	補助金交付・人的支援によるイベント実施や環境整備	イベント開催回数	回	0	0	0	3
③ 玉名温泉活性化事業	県北の自治体と連携して観光PRを実施する。	観光PR回数	回	0	4	2	5

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 観光客数	県の観光統計による入込客数	千人	2500	1500	2000	2000
			1358	1165	1528	
2 温泉旅館宿泊者数	県の観光統計による宿泊客数	人	110	60	60	110
			58	59	99	

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
必 要 性 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 民間による観光振興を促すため、市が負担すべき。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 社会情勢の変化により、目的が変化するものではないため。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり 交流人口の減少により、域内の消費が低下する。
有 効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 コロナ禍から徐々に回復傾向ではあるが、完全に回復したとはいえず、目標達成には至らなかった。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 各協議会と連携することで多くの誘客が図れるため細事業の構成は適当である。
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 適切に支出されており、削減の余地はない。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 他地域と連携しているため、本市単独では検討できない。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 民間とすでに連携しており、ノウハウを活用する余地はある。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 類似する事業はない。
公 平 性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 受益者負担を必要とするものではないため。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)	令和3年度から招聘した観光アドバイザーを増員し、各観光関連団体の改革を含め、意見を反映させながら進める。日本遺産事業については、玉名観光協会を軸に玉名市ほか参画自治体が支援しながら事業を継続していく。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	観光アドバイザーが各観光関連団体や協議会の事業に参画することで、行政職員だけでは解決できない問題に助言をもらうことで、新たな気づきがあった。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	令和4年度同様、観光アドバイザーと共に、各観光関連団体の改革を行い、意見を反映させながら進める。また、協議会事業についても、参画自治体と連携しながら継続していく。	

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	国内旅行需要・インバウンド需要など、全国旅行支援や県民割等の旅行産業への後押しで、都市圏観光地においては順調な回復を見せているものの、県北地域においてはまだまだ反応は鈍く、今後もより多くの観光客に県北観光の魅力を実感し、認知していただく必要があると考える。加えて本県においてはTSMCの進出に伴い、今後熊本県と台湾の往来が予想されることから、これまで以上に各種協議会構成自治体の親密な連携が必要になると考える。	評価責任者
		伊藤 恵浩

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	玉名版DMO構築事業		所管課 【2】	観光物産課
			作成者(担当者)	高田 千織
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		
	施策区分	(4)玉名版DMOの構築		
重点 施策 【4】	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 該当なし			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 第2期玉名市まち・ひと・しごと創生総合戦略 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 7 項 1 目 4 細目 18			

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	国内の旅行需要が伸び悩むなか、また定住人口の減少による経済的な損失を補うためには、他の地域からの交流人口を増加させ、民間の経営手法を取り入れた観光地域づくりを推進する必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	(一社)玉名観光協会及び観光関連事業者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	本市の観光振興の推進母体である玉名観光協会を軸に、観光地域づくりの舵取り役として推進体制の構築を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H28 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 実施方法 【13】 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 事務事業の具体的内容 【14】		
	観光を切り口として交流人口を増加させるため、玉名観光協会を母体としてDMOの構築を図る。令和3年度からは企業で培われた人脈やノウハウのある人材を活用し地域活性化を図るとともに「ひと」の流れを創出する。	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業(1)本 ① 地域活性化起業者人制度事業 ② ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	2,959	6,133	13,200	13,200	
	【16】 小計	2,959	6,133	13,200	13,200	0	
	職人 員 の 費	職員人工数	0.41	0.15	0.20	0.10	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291		
【17】 小計	2,245	783	1,086	545			
合計	5,204	6,916	14,286	13,745			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 地域活性化起業人制度事業	観光協会組織改革会議や市及び各種協議会が実施する会議に参加し、助言提言を行う。	会議参加数	回	***	68	77	80
②							
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 玉名観光協会会員数	会員数	人	-	62	61	65
2 地域活性化起業人が会議に参加した数	会議参加数	本	-	-	100	80
			-	68	77	

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
必要 妥当性 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 市が企業人材を活用して実施する事業である。
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 地域活性化を目的としており、社会情勢に即している。
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり 交流人口が減少することにより、域内の消費が低下するため影響がある。
有効性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 庁内外への会議への参加、助言は目標には達しなかったものの前年より増加。今年度はコロナ禍の規制緩和により実際に出向いてのプロモーションや視察が増えたため、有効性は増していると考えられる。
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当 目的に即した事業である。
効率性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 総務省の地域活性化起業人制度を活用して実施している。
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 十分検討して実施している。
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 十分に活用している。
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 類似事業なし
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 事業目的に受益者負担はなじまない。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容) 地域活性化起業人には玉名観光協会会員をはじめとする地元事業者とも積極的に関わっていただいております。規定策定などと並行して、会員との繋がりの強化、協会の認知度向上にも一役買っていただいております。引き続き地域活性化起業人と協力して観光協会の組織体制の強化を図ってまいります。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況) 令和4年度から更に1人の地域活性化起業人を民間から招き入れ、2人の地域活性化起業人に活躍していただいております。それぞれの強みを活かし、観光協会の体制強化、観光PR、物産の新規販路開拓などに携わっていただいております。民間の視点から助言をいただいたり、企業で培われたノウハウや人脈を活用して業務に携わっていただいております。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	総務省の地域活性化起業人制度により事業費は特別交付税措置の対象となっており、費用対効果を考えても大変有益な事業である。コロナ禍が収束に向かい多くの企業が人員不足となっているため、新たな人材派遣は厳しくなると思うが、今後も制度を活用して地域活性化に取り組んでいきたい。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	総務省の地域活性化起業人制度により各種事業における効果は絶大なものと評価している。今後も制度を活用して地域活性化に取り組んでいきたい。	評価責任者 伊藤 恵浩
----------------------	---	----------------

# 事務ふりかえりシート

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	6次産業推進事業		所管課 【2】	観光物産課
			作成者(担当者)	坂井 実優
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		
	施策区分	(5)物産振興の推進		
重点 施策 【4】				
	<input type="checkbox"/> 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 6次産業活性化委員会要綱、6次産業推進補助金要綱 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		款	6 項 1 目 3 細目 10

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	農林漁業を取り巻く現状は、農林漁業従事者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の拡大、食料自給率の低下、農林漁業所得の減少、TPP問題等国際情勢の変化など、様々な問題が積山している状況である。そのため玉名市では、地域経済の再建や活性化を図るために地域の基盤産業が連携を強化し、産業力の向上に取り組むとともに、地域資源を地域加工品として付加価値をつけ、磨き上げ、販路拡大等に向けた取り組みを進めていくことが重要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	6次産業に取り組む市内の農林漁業者(1次生産者)
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	6次産業を確立することにより、農林漁業者(1次産業者)の所得向上および地域活性化を図る。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H22 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	産業力の向上及び地域活性化を目的として、玉名市内で生産した農水産物を活用して、6次産業化する事業者を支援する。 ・個別相談会(研究開発、販路開拓等) ・勉強会(販路開拓セミナー) ・販路開拓支援(展示会等での支援) ・6次産業推進事業補助金の交付 ・催事、商談会等の情報提供等
	【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 ⇒ ① 研究開発事業 ② 販路開拓事業 ③

## 《事務事業実施に係るコスト》

		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	
		受益者負担	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	958	874	1,355	0	
	【16】 小計	958	874	1,355	0	0	
	職人 員 の 費	職員人工数	0.81	0.51	0.35	0.00	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,476	5,223	5,429	5,451	
		会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)		1,950	1,632	1,382	1,291		
【17】 小計	4,436	2,664	1,900	0			
合計	5,394	3,538	3,255	0			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R02実績	R03実績	R04実績	R05計画
① 研究開発事業	補助金を交付することにより6次産品の開発を支援する。	補助金交付件数	件	2	2	4	***
② 販路開拓事業	市場調査(テストマーケティング)の場の提供、販路開拓(商談)支援	販売会の開催、商談会での支援回数	回	2	1	1	***
③							

《事務事業の成果》 【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R02目標	R03目標	R04目標	R05目標
			R02実績	R03実績	R04実績	R05実績
1 6次産品売上高	市の補助金を活用して開発された6次産品の販売金額	千円	50,000	50,000	50,000	***
			35,402	52,989	32,755	
2 6次産業推奨品認定数	市が推奨品として認定した商品数	品	5	2	2	***
			3	0	0	

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由
必 要 当 性 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)	<input type="checkbox"/> 市が実施すべき <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施する必要はない 観光協会の部会で実施する方向であるため
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり 玉名ブランド推進事業に統合して推進していく
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり 玉名ブランド推進事業に統合して推進していくため、市民に影響はない
有 効 性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。未達成の場合、原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 製品開発に関しては、ハードルがあり、なかなか推奨品としての申請件数が伸びなかった
	【細事業の妥当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input type="checkbox"/> 適当 <input checked="" type="checkbox"/> 不適当 玉名ブランド推進事業に統合して推進していく
効 率 性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 玉名ブランド推進事業に統合して推進していく
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり 玉名ブランド推進事業に統合して推進していく
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 観光協会と連携していく余地がある
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり 今後は、ブランド認定品や他の物産品とともに「玉名の逸品」として推進していく
公 平 性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし 一部負担の余地がある

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)	令和4年度も同様、個別相談会と勉強会を開催し、併せて販路拡大や商品開発等にかかる補助を実施しながら、令和5年度からは玉名ブランド認定品やその他の物産品とともに「玉名の逸品」として一体的な推進に取り組んでいく。
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)	R4年度は、個別相談会と勉強会を合計5回開催し、合計延べ15名の参加があり、販路拡大や商品開発についての相談を受け、アドバイザーから助言があった。また、補助金については4件の申請があり、うち2件が東京の商談会に出展し、約20件の企業との名刺交換を行い、そのうち2件から3件の企業と前向きな取引につながる話ができたと報告を受けた。
今後の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
	今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	R4年度で6次産業推進事業が終了し、R5年度からは玉名ブランド推進事業費に予算が一本化され、玉名ブランド認定品やその他の物産品とともに一体的に推進していく。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	令和4年度までに玉名市6次産業推進計画のもと4期12年間、6次産業推進事業に取り組み、多くの6次産業推奨品が開発され販路開拓とともに玉名市のPRができ、一定の成果が得られたと考える。R5年度からは玉名ブランド推進事業費に予算が一本化するが、加工や販路に対する相談等これまで同様の支援を行い、玉名ブランド認定品やその他の物産品とともに一体的に推進していく。	評価責任者
		伊藤 恵浩